

YRP NEWS

2004年 新春号 No.30

救急医療における 高速画像伝送 公開実証実験デモ

YRP 研究開発推進協会 YRP ユビキタス通信テストベッド活用実験・研究フォーラムは、1月31日(土)独立行政法人通信総合研究所及び横浜市立大学医学部との共催で、救急医療における高速画像伝送公開実証実験デモを行いました。

公開実験デモは、横須賀市内で交通事故にあった患者がうわまち病院に搬送されたが、当病院の医師は患者の症状から高度な医療が必要と判断し、別の病院への移送が必要となり、約16キロ離れた横浜市立大学医学部付属病院へ搬送することを想定して行われました。搬送中に救急車から患者の映像や心電図、脈拍、血中酸素飽和度、エコー等の医療情報が高速無線アクセス網、3G携帯電話網、光ケーブル網等を通じてリアルタイムに伝送され、

その画像情報を共有しながら付属病院10階講堂会場に待機した医師が搬送担当医師や救急救命士に適切な指示を送りながら重症患者を搬送し、受入病院側でも予め手術等の準備に活かせる事を示しました。救急車からの映像や医療画像情報は救急指令センター想定YRPセンター1番館を経由して横浜市立大学付属病院の講堂会場に設置された大型スクリーンに映し出され、救急車内と講堂会場の受入担当医師との会話や救命処置はデモとは言え緊迫感溢れるもので、講堂会場の100名を超える参加者の強い関心をひきました。

尚、公開実験デモの様子は、フジテレビやNHKのニュース等で報道されました。



横浜市立大学医学部講堂内



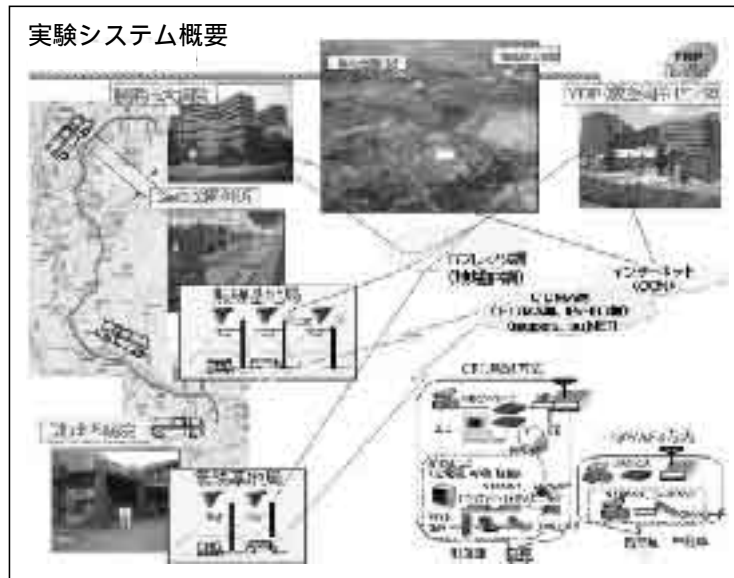
横須賀市立うわまち病院から横浜市立大学病院へ向かう横須賀市に協力いただいた救急車



救急車内から心電図、エコー等のデータを送信



海の公園前の電力柱に取付けられた高速無線アクセス基地局とアンテナ



主催
通信総合研究所
横浜市立大学医学部整形外科講座
YRP 研究開発推進協会

後援
総務省関東総合通信局
横須賀市
横須賀テレコムリサーチパーク

参加団体
YRP テストネットフォーラム
YRP モバイルアプリ検討グループ

参加協力企業・団体
NTTコミュニケーションズ
沖電気工業
協和エクシオ
KDDI 研究所
京浜急行電鉄
通信総合研究所
通信・放送機構
デンソー
東京電力
日本電気
日本電信電話
ニッポン放送プロジェクト
野村総合研究所
パナソニックモバイル
コミュニケーションズ
日立造船
フクダ電子
富士通
フジテレビジョン
横浜市立大学
横須賀市
横須賀テレコムリサーチパーク



NTTドコモ会議室にて

科学技術政策担当大臣 茂木敏充 氏 Y R P ご視察

2003年12月10日、茂木敏充国務大臣（科学技術政策担当、情報通信技術（IT）担当）が横須賀リサーチパークをご視察されました。Y R P 研究開発推進協会鶴沼男会長、横須賀市澤田秀男市長がご挨拶をされ、Y R P 全体のご説明の後、独立行政法人通信総合研究所横須賀無線通信研究センター、通信・放送機構横須賀ITSリサーチセンター、（株）NTTドコモR&Dセンタを訪問されました。通信総合研究所では飯田尚志理事長等からご説明が行われ、セイフティ無線ネットワーク技術等についてご視察。通信放送機構では松浦雅洋理事等からリサーチセンター概要のご説明の後、IPv

6対応マルチモード端末を搭載した実験車両にご乗車され、複数通信媒体（無線LAN、携帯電話等）の切替技術の走行デモをご視察。NTTドコモでは、木下耕太常務取締役等から最新携帯電話機や、第4世代（次世代）高速無線伝送についての説明を受けられました。



通信総合研究所のご視察

ドイツ・ブレーメン市 市長 Y R P ご来訪

Y R P は2003年4月にドイツ・ブレーメン市経済港湾産業省と研究交流の覚書（MOU）を調印しましたが、これを受けて11月21日にブレーメン市のHartmut Perschau市長が、ブレーメン市に所在する企業・大学の研究者とともにY R P を来訪されました。Perschau市長と一行は、午前中、Y R P 研究開発推進協会羽鳥光俊名誉会長によるご挨拶に続いて、若菜弘充代表幹事によるY R P の概要説明を受けました。午後にNTTドコモR&Dセンタと独立行政法人通信総合研究所横須賀無線通信研究センターをご視察されました。その後、一行はY R P ホールにおいてY R P 研究開発推進協会会員企業の代表者とのミーティングを行い、今後の交流事業（研究者や学生のインターンシッ



ブレーメン市からの訪問団一行（前列中央がブレーメン市長）

プ、ブレーメン市での共催セミナーの実施、2005年の愛知万博の機会を捉えた交流セミナーの実施の可能性等）について意見交換を行いました。

東北インテリジェント・コスモス構想 推進3団体及び東北IT産業推進機構との 相互協力に関する協定書の調印



東北インテリジェント・コスモス構想推進3団体との調印

2003年12月18日、YRP研究開発推進協会及び(株)横須賀テレコムリサーチパークは、東北インテリジェント・コスモス構想推進協議会(会長 西澤 潤一様)(財)インテリジェント・コスモス学術振興財団(理事長 西澤 潤一様)及び(株)インテリジェント・コスモス研究機構(取締役社長 斉藤 正三郎様)並びに東北IT産業推進機構(会長 野口 正一様)との相互協力に関する協定に調印いたしました。

モバイル、インターネット、放送システム等IT分野の様々な技術融合がITアプリケーションの加速的な発展を可能とするものです。今回調印する各団体の得意分野を連携し、相互補完することにより、より高度な情報通信技術の研究開発及び利用の発展を推進していくため、今回、協定を締結することとなりました。当面は、相互の情報交換を主体とした活動を行い、電波・情報通信技術分野を中心とした具体的な協力事業について検討していくこととしております。

東北インテリジェント・コスモス構想

推進3団体は「世界に開かれた東北を」のかけ声のもと、東北7県に独創的な研究開発と産業開発の国際拠点を形成し、ネットワーク化を図ることを目標にした「東北インテリジェント・コスモス構想」の実現のための団体であります。「東北インテリジェント・コスモス構想推進協議会」は総合推進組織であり、「財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団」は学術分野における研究シーズの発掘と支援を、「株式会社インテリジェント・コスモス研究機構(略称ICR)」は研究開発型企業(R&D)の設立支援及び研究成果の事業化支援をそれぞれ行う組織です。また、「東北IT産業推進機構」は東北地域のIT産業を高度化し、国として、地域として必要なIT戦略を企画・立案・実行する組織として、地域の産学官の総力をあげ、東北の知を結集し、



東北IT産業推進機構との調印



同時に開催された通信総合研究所と東北大学電気通信研究所の調印

新しいIT産業の創生を目指しています。

なお、これに先だち、独立行政法人通信総合研究所と東北大学電気通信研究所との間で情報通信技術分野における相互協力に関する包括協定書が締結されました。



調印式の会場

「インテリジェント・コミュニティ 2003 世界トップ7」に 横須賀市が選出される

ワールド・テレポート・アソシエーション（WTA）の内部組織である、インテリジェント・コミュニティ・フォーラム（ICF）は、2003年度インテリジェント・コミュニティ世界トップ7を発表した。

WTAとは、衛星・光ファイバーなどを利用した高度通信網の普及を図るため、1985年に設立された国際的な組織であり、アメリカ、ヨーロッパ、アジアに拠点を持っている。また、ICFとは、世界テレポート連合の内部組織であり、世界各国の自治体による経済開発のためのブロードバンドと情報技術の利用に焦点を当てた調査を行っている。その調査をもとに会議の企画や機関誌を発行するとともにインテリジェント・コミュニティの表彰を1999年から毎年行っている。

横須賀市はYRP計画の推進、e-Japan戦略に基づく電子自治体の推進及び電子入札によって入札の透明性や競争性を高めたことなどが評価され、グラスゴー市（英国）スパーカン市（米国ワシントン州）サンダーランド市（英国）台北市（台湾）ヴィクトリア州（オーストラリア）ウェスタン・ヴァレー地区（カナダ）と共にトップ7に選出された。

2003年12月1日にニューヨークのICF本部から本市広報課に突然メールが寄せられ、インテリジェント・コミュニティ世界トップ7に選出したことが知らされた。その時点では、なぜ選出されたかも解らない状況であったが、いろいろと調べていくうちに、2002年の11月にWTAアジアテレポート協会の方が機関誌に載せたいという理由

で視察に訪れ、その方が本部に推薦をした結果が今回のトップ7の選出であった。

自薦ではなく、他薦で世界的な組織から本市の取り組みが評価されたことを素直に喜んでいる。創成期から現在まで、YRP計画に携わったすべての方々の努力が評価されたものと認識している。

しかし、YRP計画も電子自治体の取り組みも終わりがあるものではなく、現状で満足している状況にはない。YRPの土地利用率は約45%に留まっており、今後、更に産学官の英知を結集し様々な施策を展開していかなければならない。今回のトップ7の選出は真の意味のインテリジェント自治体に向けた第一歩にすぎないと考えている。（横須賀市企画調整部情報政策担当）

ICF INTELLIGENT COMMUNITY FORUM
A WORLDWIDE TELEPORT ASSOCIATION
110 International Technology Center, 25th Street, New York, NY 10011, USA
TEL: 212 693 1100 FAX: 212 693 1101

TOUCH FRIENDLY CONTACT:
Email: Toronto, Toronto@icf.com
212-693-1101 or 212-693-1102

**Intelligent Community Forum Announces
Top Seven Intelligent Communities of 2003**

New York, November 17, 2003 - The Intelligent Community Forum announced the selection of its annual list of the Top Seven Intelligent Communities in November, which recognizes achievement by communities that have shown leadership in providing a knowledge-based infrastructure through the digital divide, encouraging innovation and effective economic development strategies, and providing a high quality of life for its residents. The 2003 Top Seven Intelligent Communities are: Taipei, Taiwan; Vancouver, Canada; Victoria, Australia; Western Valley, Canada; Glasgow, Scotland; Singapore; and Yokohama, Japan.

The Top Seven Intelligent Communities of 2003, international cities are:

- Glasgow, Scotland, United Kingdom
- Quebec, Montreal, Canada
- Vancouver, British Columbia, Canada
- Taipei, Taiwan
- The State of Victoria, Australia
- The Western Valley Region, Nova Scotia, Canada
- Yokohama, Japan

The Top Seven Intelligent Communities list is made like a competitive listing. But that is not the case. ICF has developed a list of Intelligent Communities based on a competitive global framework for understanding how communities are performing in a competitive global market. The Top Seven Intelligent Communities are selected from a list of 100 communities that have been ranked by the International Technology Center, New York, NY, USA.

"This year's selection recognizes the various qualities of services and infrastructure that have been provided by these communities and the leadership they have shown in providing a high quality of life for their residents. The Top Seven Intelligent Communities are selected from a list of 100 communities that have been ranked by the International Technology Center, New York, NY, USA. The Top Seven Intelligent Communities are selected from a list of 100 communities that have been ranked by the International Technology Center, New York, NY, USA. The Top Seven Intelligent Communities are selected from a list of 100 communities that have been ranked by the International Technology Center, New York, NY, USA."

Intelligent Communities Conference and Awards Ceremony
On Nov. 17-18, 2003, ICF will hold its annual conference and awards ceremony in New York, NY, USA. The 2003 award ceremony will recognize the achievements of the Top Seven Intelligent Communities and will be held at the New York Marriott Marquis Hotel.

The Top Seven Intelligent Communities of 2003
Page 1

WESTERN VALLEY, NOVA SCOTIA, CANADA

The Western Valley of Nova Scotia, Canada, is a rural region of approximately 600 km² facing the challenges of a transition from a rural to an industrialized world. During the 1980s, the region's primary industry, the pulp and paper mill, was closed. The region's economy was in a state of decline. The Western Valley Development Authority (WVDA), an economic development partnership of several municipalities and provincial government, initiated a series of initiatives to revitalize the region. In February 2003, WVDA received one of 12 million dollars in funding from the federal government to support its economic development, research, and innovation strategy. The strategy focuses on the following areas: technology and innovation.

Over the course of three years, WVDA and its local municipalities have achieved a number of milestones that have led to the region's economic recovery. These milestones include the following: the region's economy is now growing; the region's infrastructure is being upgraded; the region's workforce is being trained; the region's quality of life is improving; and the region's reputation is being enhanced. The Western Valley Development Authority is proud to have been selected as one of the Top Seven Intelligent Communities of 2003.

YOKOHAMA, JAPAN

Yokohama is the second largest city in Japan and is one of the most advanced cities in the world. The city is a global leader in technology and innovation. The city's economy is based on a diverse range of industries, including electronics, automotive, and pharmaceuticals. The city's infrastructure is world-class, and its quality of life is high. The city's reputation is global, and it is a leading destination for international business and tourism.

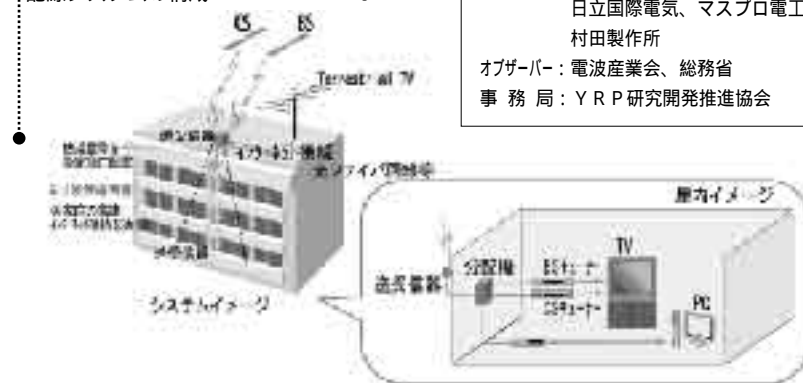
ICF INTELLIGENT COMMUNITY FORUM
A WORLDWIDE TELEPORT ASSOCIATION

集合住宅等への通信放送融合型 60GHz 帯縦系配線システムに関する調査検討会が発足

放送サービス及び双方向通信機能を持つミリ波縦系配線システムの実現に向けて、調査を行うとともに技術基準策定を目指し、「集合住宅等への通信放送融合型 60GHz 帯縦系配線システムに関する調査検討会」(座長：関東学院大学井原俊夫教授)が今年はじめに発足しました。ミリ波帯の電波は、多チャンネルの映像信号と高速データの同時伝送が可能であり、集合住宅にブロードバンドのインフラを整備する手段として期待されています。本調査検討会の開催期間は約半年を予定しており、現行の単方向通信を基本とした民間標準規格『特定小電力無線局ミリ波画像伝送用無線設備 (ARIB STD-T69)』の改定を目的とした調査検討

を進め、平成 16 年度内に双方向通信を可能とするミリ波無線設備の技術基準策定を実現することを目指します。

通信放送融合型 60GHz 帯縦系配線システムの構成



参加機関：関東学院大学、NTT コミュニケーションズ、宇宙通信、沖電気工業、鹿島建設、関電工、京浜急行電鉄、三技協、J S A T、竹中工務店、トヨシステムエンジニアリング、日立国際電気、マスプロ電工、村田製作所
オブザーバー：電波産業会、総務省
事務局：Y R P 研究開発推進協会

フランス大使館と共催 「マルチメディア・コンテンツ」投資セミナー

在日フランス大使館対仏投資部 (AFII) と YRP 研究開発推進協会の共催による「マルチメディア・コンテンツ」投資セミナーが、2003 年 11 月 10 日に YRP において開催されました。セミナーでは、フランス各地方から参加されたミッションによって

移動体通信端末 (GPRS、UMTS、PDA、移動体インターネット) 向けコンテンツ分野におけるフランスのノウハウが紹介され、約 30 名が参加しました。YRP はフランス各地の IT 関連機関と研究交流の覚書 (MOU) を調印しており、今回もミッション参加者

の中にそのうちの 2 機関であるウェスト・アトランティックとコートダジュール経済開発局 (CAD) の代表者が加わるなど、活発な交流が続けられています。

フィンランド NETS Technology Programme 講演会

フィンランド技術庁が推進する NETS (Network of the Future : 未来のネットワーク) 技術プロジェクト代表団が、2003 年 11 月 13 日、YRP の研究機関を訪問した後、NETS プログラム概要紹介の講演を行いました。NETS 技術プログラムとは、フィンランドにおける情報通信技術及びサービス面での最先端研究開発の強化を目的としたプログラムです。代表団はネッ

トワーク技術や端末設備の研究を専門とする大学教授及びフィンランド技術庁職員の 12 名でした。講演テーマは「未来の無線通信システム技術とその構成」、「ブロードバンドパケットネットワーク技術」、「ネットワークを活用した新規サービスとアプリケーションの概念」等で、関心のある会員企業から約 20 名が参加しました。



NETS プロジェクトについて説明するフィンランド技術庁

日・中移動体通信技術フォーラム第3回総会

2003年12月17日に日・中移動体通信技術フォーラム(会長 轟昭男 YRP研究開発推進協会会長)の第3回総会が開催され、2003年度活動経過報告と2004年度活動計画が承認されました。

当フォーラムは、これまでの2年間、サミット・セミナー及び4回の訪中活動を行い、中国の産学官関連団体との電波・情報通信技術に関する政策動向、キャリア、ベンダーの動向、研究開発動向、アプリケーションの開発実態等について、緊密な情報交換及び人脈形成に努めてきました。

3年目となる当フォーラムの活動は、より中国関連業

界・団体等との連携を深めるとともに、2004年に予定されているWPMC Special Event in Chinaへの協力など、これまでの活動成果をもとに推進していく計画で、実施にあたっての課題は以下の3つです。

3G等のサービス業務の高度化における連携

Beyond 3Gシステムにおける研究開発面の連携

地域情報化における連携

また、2004年1月22日に開かれた幹事会では、訪中活動(計3回)及び会員の目的に沿った分科活動を実施していくことを確認しました。

日独移動通信ワークショップ開催

2003年11月21日のドイツ・ブレーメン市長のYRP来訪に先立ち、11月19日に、市長に同行して来日した同市の企業各社・大学研究者から成る企業訪問団がYRPを来訪し、「日独移動通信ワークショップ」がYRPで開催されました。羽鳥名誉会長とブレーメン経済港湾産業省の代表者であるDr. Petratによる歓迎挨拶に続いて、YRP側からはNTTドコモの中野マルチメディア研究所長、KDDI研究所の篠永YRPリサーチセンター長を始め、通信総合研究所、パナソニックモバイルコミュニケーションズ、富士通、NEC等各機関の研究者による研究紹介が行われ、ドイツ側からは、Dr. Petratのブレーメン市の移動通信戦略についてのプレゼンテーションを皮切りに、ドイツテレコム日本支社とブレーメン市内のIT関連企業各社による活動紹介が行われました。



ブレーメン市内IT企業による企業紹介

早稲田大学国連ITU研究センター YRP 見学

2003年10月30日、国連ITU研究センター開設記念国際会議(主催:早稲田大学、後援:ITU、YRP研究開発推進協会他)参加者一行が、YRPを訪問されました。参加者はアジア太平洋諸国を中心に総勢17カ国38人。午前には独立行政法人通信総合研究所において、若菜センター長等から無線通信の最新技術の説明がありました。午後はNTTドコモR&Dセンタを視察されました。また、2003年9月1日にオープンしたばかりの早稲田大学国連ITU研究センターを視察し、参加者は早稲田大学・ITU・YRPの将来の相互関係拡充に多大な期待を寄せていました。



NTTドコモのプレゼンテーションを熱心に聞く参加者

第4回 APT 次世代移動体通信技術研修実施

第4回アジア太平洋電気通信共同体（APT）次世代移動体通信技術研修が、APT、総務省、横須賀市等のご協力により、2004年1月19日から28日の日程で実施され、今年もAPT加盟国の15カ国から15名の研修生が来日し、YRPに滞在しました。研修生はいずれも各国の電気通信主管庁における移動体通信担当管理者やキャリア及びメーカーの技術者です。研修では、YRPに關係の深い大学教授及びYRP会員機関研究者によって、標準化活動、W-CDMA、CDMA2000、MMAC、UWB、Mobile IP、ITS等についての講義が行われるとともに、関連の研究・実験用施設の見学が行われ、講師や説明者との間で活発な質疑応答が交わされました。また、各国研修生によってそれぞれの国の通信事情についてのプレゼンテーションが会員に公開される形で実施され、貴重な



総務省を表敬訪問したAPT研修生一行

情報を得られる場として好評でした。週末にはオプションプログラムとして、横須賀国際交流協会によるホームビジットプログラムが行われ、研修生はボランティア家庭での日本文化体験を楽しんだ様子でした。

YRP ユビキタス・ネットワークング研究所よりお知らせ〔第4回〕



生産履歴で安全な野菜を確認

ICタグ（電子荷札）を野菜につけて販売する青果物トレーサビリティ実証実験が京急ストア3店舗で2003年1月8日より実施されました。

これは約3万点の野菜一つ一つにICタグを取り付けて、生産から販売までどんな栽培がなされたか、どんな流通経路を辿ったのか、ICタグ読取装置や携帯型のユビキタスコミュニケータ（UC）を使って消費者がその履歴情報等を直に見ることが出来ます。今回のような野菜を育てるところから始まる一貫した実証

実験は、恐らく世界初の試みです。

1月16日には京急ストア平和島店での実験、実施状況を麻生太郎総務大臣がご視察され、当研究所に対して熱い期待が寄せられております。

また昨年暮れに開催された「TRON SHOW 2004」では、【ユビキタスショーケース】というUCを使って入場者が実際にユビキタス体験するコーナーを設けましたが、小泉純一郎内閣総理大臣がご視察され、益々注目度は増しております。

実証実験スケジュール

| | |
|------------|-----------|
| 1/ 8 ~ 2/6 | 京急ストア能見台店 |
| 1/13 ~ 2/6 | 平和島店 |
| 1/14 ~ 2/6 | 久里浜店 |

協力団体

横須賀青果物
よこすか葉山農業協同組合
京急ストア
横須賀テレコムリサーチパーク
農林水産省

開催予告

第1回次世代ワイヤレス技術展 (Next Generation Wireless Technology Exhibition & Conference)

< 出展募集中 >

会 期：2004年7月21日(水)～23日(金)
場 所：東京ビッグサイト(ワイヤレスジャパン2004と同時開催)
主 催：リックテレコム、E.J.クラウド&アソシエート社、
YRP 研究開発推進協会
実行委員長 羽鳥光俊 YRP 研究開発推進協会名誉会長
入場料：事前登録者・招待券持参者は無料(それ以外2000円)
問合せ先：次世代ワイヤレス技術展運営事務局
E.J.クラウド&アソシエート日本支社
電 話：03-5212-7071 メール：info@ejk-japan.co.jp
URL：http://www.ric.co.jp/expo/wt2004/

WPMC '04 第7回国際移動通信シンポジウム

(WPMC '04 = The 7th International Symposium on Wireless Personal Multimedia Communications) がイタリアのアパノ・テルメにて開催されます。

開催日程：2004年9月12日(日)～15日(水)

その他詳細については下記WEBをご参照ください。

WPMC '04 Website：http://www.dei.unipd.it/WPMC2004/

開催延期のお知らせ

WPMC Special Event in China

2004年3月19日(金)～20日(土)の日程で、中国・杭州市での開催を予定しておりました国際移動通信シンポジウム(WPMC)のスペシャル・イベントですが、諸事情により開催が延期されました。新たな開催日程については決まり次第ご案内致します。

セミナー情報

総務省よりITビジネスモデル地区の指定を受けた横須賀市の支援を受け情報通信人材研修「最先端の無線・情報通信技術講座」を、第1回目大久保栄教授(早稲田大学大学院理工学研究科)、第2回目中嶋信生教授(電気通信大学人間コミュニケーション学科)、第3回目今井秀樹教授(東京大学生産技術研究所)、第4回目大山永昭教授(東京工業大学)の4名の先生の御協力を得て開設しました。全講座とも、モバイル通信に特化したYRPの特徴を強調した、また、情報通信分野において第一線で活躍されている大学の先生の企画したものならでは、オリジナリティー溢れるテキストを使用し、白熱した講義が展開されました。総勢200名の方のご参加をいただき、大盛況のうちに今年度につきましては終了しました。

2004年度は、多方面からの御協力を得ながら、研究者の皆様の御期待に沿った研修を提供できるよう努力して参りますので、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

(連絡先：(株)横須賀テレコムリサーチパーク)
総務部 佐藤

2003 YRP 駅伝大会

2003年11月29日(土)、今回で4回目となる「YRP 駅伝大会2003」を開催。当日は容赦なく雨が降りしきり、またこの時期にしては凍つくような寒さにもかかわらず、精鋭10チームが参加。優勝の栄光を勝ち取ったチームは、「ジョグ・ザウルス」(パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株))。レースに備え、



数週間前から行っていた厳しい朝練の成果を見事にし切りました。練習中に見える富士山は最高に綺麗だったとか。レース後の祝賀会では、参加者一同、互いの健闘を称えとともに、次の大会へ向けての新たな闘志を燃やしていました。

2003 YRP クリスマス会

2003年12月11日(木)、すっかりYRP冬の恒例行事として定着した「YRPクリスマス会」を開催。今回は例年を上回る参加者数(延べ700名)ということもあり会場は大盛況となりました。ゲームアトラクションの「企業対抗ウルトラクイズ」では、珍答も続出!! 会場に歓声が響くほど白熱した対抗戦となりました。最後



には参加者お楽しみのビンゴ大会が行われ、熱気は最高潮に達しました。大盛況で終えた今回のクリスマス会。就業者の方々、そして近隣の方々にご参加頂き、一足早いクリスマスムードを楽しみました。



【編集・発行】

YRP 研究開発推進協会
(株)横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL: 046-847-5008 FAX: 046-847-5010

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL: 046-847-5000 FAX: 046-847-5010

http://www.yrp.co.jp/